

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ブランドメッセージと理念

全国に広がる鉄道貨物輸送網を活かし、新技術を導入して総合物流サービスを提供し、安全を基盤として社会に必要とされ続ける

CO2削減率
50%

輪重測定装置設置駅数
95駅

② 中長期の経営戦略

1. 安全基盤の強化と安定輸送

安全の価値観浸透と、災害時のトラック・船舶代行迅速化でお客様に安心な物流サービスを提供

3. 不動産事業拡大と新規事業展開

スクラップアンドビルド、ポートフォリオ拡充、資産流動化による収益拡大と新価値創出

2. 既存アセット最大活用と輸送量回復

モーダルコンビネーション推進、大型コンテナ取扱拡大、中距離帯ネットワーク強化で鉄道事業の黒字化を目指す

4. 経営基盤強化

組織力・ガバナンス強化、人的投資、働きがい創出、収支構造改革、グループ経営資源の効率活用

③ 対処すべき課題

① 物流生産性の向上

- ・ブロックトレイン新設と輸送力増強で総合物流企業グループへ進化
- ・物流の2024年問題とカーボンニュートラル達成に向けた貨物鉄道利用メリット訴求
- ・レールゲートと積替ステーション整備で物流効率化ニーズに対応

② 安全・安心な物流サービス確保

- ・2021年山陽線脱線事故の再発防止と偏積防止に関係者一体で取り組み
- ・2024年輪軸作業不適切事案の改善命令対応として規程・教育・記録・管理体制強化
- ・豪雨災害長期寸断対応としてEH500形改造、トラック拡大、船舶活用でリダンダンシー確保

③ グリーン社会実現への貢献

- ・環境長期目標「カーボンニュートラル2050」で2050年度にCO2実質ゼロを掲げ
- ・次世代バイオディーゼル燃料使用拡大と高燃費削減車両導入推進

面接で使えるポイント

- ・全国一元的な鉄道貨物輸送網を持つ唯一企業として、物流の2024年問題解決に貢献する存在になりたい
- ・中期経営計画2026で掲げる安全基盤強化と鉄道事業黒字化に向けた課題解決に携わりたい
- ・カーボンニュートラル2050への取組みで、2030年度CO2 50%削減目標達成を支えたい

EDINETコード E08587

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

当社と子会社25社及び関連会社23社（2026年3月31日現在）により構成されて

主力事業・セグメント

- ・Railroad物流 88.4%
- ・不動産 11.6%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高2,076億円の事業規模

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
2,076億円営業利益率
1.6%財務健康度
12点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 49.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収

－（未開示）

平均年齢

－（未開示）

平均勤続

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

